

提案 1

●委員会の分科会等の設置提案をする際に用いる付属様式等について（平成 18 年 2 月 23 日日本学術会議第 9 回幹事会申し合わせ）の一部を次のように改正する。

改 正 後			改 正 前		
(略)			(略)		
(様式)			(様式)		
○○○委員会分科会（小分科会、小委員会）の設置について			○○○委員会分科会（小分科会、小委員会）の設置について		
分科会等名：_____			分科会等名：_____		
1	所属委員会名 （複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。）		1	所属委員会名 （複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。）	
2	委員の構成		2	委員の構成	
3	設置目的		3	設置目的	
4	審議事項		4	審議事項	
5	設置期間	____年 月 日 ～ ____年 月 日 (削除)	5	設置期間	時限設置 ____年 月 日～ ____年 月 日 常設
6	備考		6	備考	

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

●部が直接統括する分野別委員会合同分科会について（平成 21 年 6 月 25 日日本学術会議第 79 回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改 正 後	改 正 前
(略) 第 2 (略) 3 当該分科会における審議結果に基づく意思の表出については、日本学術会議の運営に関する内規（平成 17 年 10 月 4 日日本学術会議第 1 回幹事会決定）第 3 条第 2 項及び日本学術会議分野別委員会及び分科会等について（平成 20 年 10 月 23 日日本学術会議第 67 回幹事会決定）の定めにかかわらず、担当部の承認を得て、担当部の部長が幹事会に提案するものとする。 4 <u>当該分科会の設置期限は当該期末までとし、委員長は期首及び適時に分科会の設置について幹事会に提案する。</u> (略) (別紙) 部が直接統括する分野別委員会合同分科会の設置について 合同分科会の名称：_____	(略) 第 2 (略) 3 当該分科会における審議結果に基づく意思の表出については、日本学術会議の運営に関する内規（平成 17 年 10 月 4 日日本学術会議第 1 回幹事会決定）第 3 条第 2 項及び日本学術会議分野別委員会及び分科会等について（平成 20 年 10 月 23 日日本学術会議第 67 回幹事会決定）の定めにかかわらず、担当部の承認を得て、担当部の部長が幹事会に提案するものとする。 <u>(新規)</u> (略) (別紙) 部が直接統括する分野別委員会合同分科会の設置について 合同分科会の名称：_____

1	担当部及び 関係委員会 名	
2	委員の構成	
3	設置目的	
4	審議事項	
5	設置期間	年 月 日 ～ 年 月 日 (削除)
6	備考	

1	担当部及び 関係委員会 名	
2	委員の構成	
3	設置目的	
4	審議事項	
5	設置期間	時限設置 年 月 日 ～ 年 月 日 常設
6	備考	

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

●日本学術会議アドバイザー等について（平成23年9月1日日本学術会議第133回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改 正 後	改 正 前
1. 日本学術会議アドバイザーについて (1) 会長又は副会長は、日本学術会議の活動に助言を行う者として、会員又は連携会員の中から、日本学術会議アドバイザーを会長に推薦することができる。ただし、特に必要と認められる場合には、会員又は連携会員以外の者で、優れた研究又は業績を有する者の中から日本学術会議アドバイザーを推薦することができる。 (略) 2. 日本学術会議外国人アドバイザーについて (1) 会長、副会長又は各部は、日本学術会議の審議に協力する者として、優れた研究又は業績を有する外国人を日本学術会議外国人アドバイザーとして会長に推薦することができる。<u>ただし、国際会議等への代表派遣を目的とする外国人アドバイザーの推薦を行う際は、国際委員会による審査を経て、会長に推薦するものとする。</u> (略) (3) 日本学術会議外国人アドバイザーは9人程度とし、任期は委嘱をした期の期末を超えないものとする。<u>ただし、国際会議等への代表派遣を目的とする外国人アドバイザーの任期は、派遣準備から出張報告提出までの必要最小限の短期間に限定することとする。</u> (4) なお、外国人アドバイザーについては、<u>国際会議等に代表派遣される場合を除いて、</u>当分の間、その任務に対する海外	1. 日本学術会議アドバイザーについて (1) 会長又は副会長は、日本学術会議の活動に助言を行う者として、会員又は連携会員の中から、日本学術会議アドバイザーを推薦することができる。ただし、特に必要と認められる場合には、会員又は連携会員以外の者で、優れた研究又は業績を有する者の中から日本学術会議アドバイザーを推薦することができる。 (略) 2. 日本学術会議外国人アドバイザーについて (1) 会長、副会長又は各部は、日本学術会議の審議に協力する者として、優れた研究又は業績を有する外国人を日本学術会議外国人アドバイザーとして推薦することができる。 (略) (3) 日本学術会議外国人アドバイザーは9人程度とし、任期は委嘱をした期の期末を超えないものとする。 (4) なお、外国人アドバイザーについては、当分の間、その任務に対する海外渡航旅費を支給しない。

渡航旅費を支給しない。 (略) <u>4. その他</u> <u>日本学術会議アドバイザー又は日本学術会議外国人アドバイザーの推薦は、別紙様式により行うものとする。</u> (略) <u>(様式1)</u> <u>(様式2)</u>	(略) <u>(新規)</u> (略) <u>(新規)</u>
---	---

附 則
この決定は、決定の日から施行する。

※様式1及び2については次ページ参照

様 式 1

(日 付)

日本学術会議会長
〇〇 〇〇 殿

〇〇 〇〇

以下のとおり、表2の者を日本学術会議アドバイザーまたは日本学術会議外国人アドバイザーの候補者として推薦します。

(表1) 参画する期間等

任 期	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日
備 考	

注)国際会議への代表派遣の場合は詳細について備考に記載。

(表2) 日本学術会議アドバイザーまたは日本学術会議外国人アドバイザー候補者

氏名	国籍	年齢	性別	現 職	専門分野	本人内諾	候補者連絡先 (〒・住所・電話番号・メールアドレス)
							(勤務先／自宅の別)

(表3) 選考要件についての説明

氏 名	理 由 説 明

注) (様式2) 日本学術会議アドバイザー等候補者推薦書も添付すること。

※国際会議への代表派遣の場合は表3の記入及び様式2の提出不要。

日本学術会議アドバイザー等候補者推薦書

1. 推薦者が記入する項目

 … 必須入力項目です

あなた(推薦者)の氏名

推薦理由 ※ 全角500文字以内で記入してください。この枠いっぱいでは500文字です。

(参考) 現在、約 0 文字です。

2. 候補者が記入する項目

 … 必須入力項目です

 … どれかひとつは入力してください

< 姓 >

< 名 >

氏名:

性別:

※[男][女]から選択してください。

ふりがな:

※全角ひらがな

生年月日:

就任時

歳

(自動計算)

半角で、西暦4桁/月/日 形式で入力してください。

戸籍名:

ふりがな:

※全角ひらがな

※通常使用している氏名と戸籍名が異なる場合のみ記入してください。〈姓〉〈名〉のどちらかが異なる場合でも、〈姓〉〈名〉の両方を入力してください。

候補者の日本学術会議での現職/非現職区分

である

勤務先名:

勤務先での職名:

< 自宅 >

郵便番号:

※ハイフン区切り半角数字

都道府県:

所在地(市区町村以下):

建物等名:

電話番号:

※ハイフン区切り半角数字

FAX番号:

※ハイフン区切り半角数字

E-mail:

< 勤務先 >

※特定の勤務先がない場合は、自宅住所を記入してください。

郵便番号:

※ハイフン区切り半角数字

都道府県:

所在地(市区町村以下):

建物等名:

電話番号:

※ハイフン区切り半角数字

内線番号:

FAX番号:

※ハイフン区切り半角数字

E-mail:

※自宅又は勤務先の「電話番号」「FAX番号」「E-mail」のうち、確実に連絡が取れるものを選んで入力してください。

優先する連絡先:

に連絡する

※[自宅][勤務先]から選択してください。

< 主要な学歴および学位を3件以内で記入してください >

	年	月	学歴・学位の内容
学歴・学位 1 :			
学歴・学位 2 :			
学歴・学位 3 :			

※西暦4桁（半角数字） ※1～12の半角数字

< 主要な職歴を現職から順に遡って7件以内で記入してください >

	年	月	職歴の内容
職歴 1 :			
職歴 2 :			
職歴 3 :			
職歴 4 :			
職歴 5 :			
職歴 6 :			
職歴 7 :			

※西暦4桁（半角数字） ※1～12の半角数字

現職名・名簿記載職名:

※ こちらに記入した内容が、名簿記載上の職名になります。

< 専門分野（「科学研究費助成事業（科研費）」の細目名の中から相当する細目番号）を3件以内で入力してください >
（細目番号は「科研費細目表」シート参照）

※科研費を受け取っていない場合でも、該当すると思われる専門分野を入力してください。

	<細目番号>	<細目名>	
専門分野(科研費細目名) 1 :			※ #N/A と表示された場合は<細目番号>が誤りです。
専門分野(科研費細目名) 2 :			※ #N/A と表示された場合は<細目番号>が誤りです。
専門分野(科研費細目名) 3 :			※ #N/A と表示された場合は<細目番号>が誤りです。

< 主要な研究内容を3件以内で記入してください >

研究内容 1 :	
研究内容 2 :	
研究内容 3 :	

< 所属している国内の学会の名前を3件以内で記入してください >

国内所属学会名 1 :	
国内所属学会名 2 :	
国内所属学会名 3 :	

< 所属している海外の学会の名前を3件以内で記入してください >

国際所属学会名 1 :	
国際所属学会名 2 :	
国際所属学会名 3 :	

< 主要な学術論文、著書、特許等の学術的業績を5件以内で記入してください >

業績1: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:
 標題、書名又は
産業財産権の名称:

 雑誌名、出版社又は
会議名、開催場所等:
発行年、開催年又は取得年: ※西暦4桁（半角数字）業績2: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:
 標題、書名又は
産業財産権の名称:

 雑誌名、出版社又は
会議名、開催場所等:
発行年、開催年又は取得年: ※西暦4桁（半角数字）業績3: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:
 標題、書名又は
産業財産権の名称:

 雑誌名、出版社又は
会議名、開催場所等:
発行年、開催年又は取得年: ※西暦4桁（半角数字）業績4: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:
 標題、書名又は
産業財産権の名称:

 雑誌名、出版社又は
会議名、開催場所等:
発行年、開催年又は取得年: ※西暦4桁（半角数字）業績5: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:
 標題、書名又は
産業財産権の名称:

 雑誌名、出版社又は
会議名、開催場所等:
発行年、開催年又は取得年: ※西暦4桁（半角数字）

< 主要な受賞歴を3件以内で記入してください >

	受賞年	賞名	授賞機関
受賞歴1:			
受賞歴2:			
受賞歴3:			

※西暦4桁（半角数字）

★候補者は、入力漏れなどがないか内容をご確認の上、このファイルを保存して、推薦者に返送してください。

★推薦者は、候補者から返送されたファイルをご確認の上、日本学会会議事務局企画課審査係まで送付してください。

●日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規（平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改 正 後	改 正 前
(略) 第19条 会長及び関係委員長は、幹事会で承認された派遣実施計画に基づき、代表を派遣すべき会議等（以下「代表派遣会議」という。）のそれぞれの内容等に応じて、学術会議会員（以下「会員」という。）の中から適任者を選考し、様式第7に定める代表派遣会議候補者推薦書により派遣候補者を会長に推薦するものとする。ただし、学術会議連携会員（以下「連携会員」という。）<u>もしくは日本学術会議外国人アドバイザー</u>の中に適任者があると認められる場合は、その者を候補者として推薦することができる。 (略)	(略) 第19条 会長及び関係委員長は、幹事会で承認された派遣実施計画に基づき、代表を派遣すべき会議等（以下「代表派遣会議」という。）のそれぞれの内容等に応じて、学術会議会員（以下「会員」という。）の中から適任者を選考し、様式第7に定める代表派遣会議候補者推薦書により派遣候補者を会長に推薦するものとする。ただし、学術会議連携会員（以下「連携会員」という。）の中に適任者があると認められる場合は、その者を候補者として推薦することができる。 (略)

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

分野別委員会運営要綱(平成26年8月28日日本学術会議第199回幹事会決定)の一部を次のように改正する。

改 正 後					改 正 前				
別表第1					別表第1				
分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考	分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
基礎生物学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	基礎生物学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生物科学分科会	(略)	(略)	(略)		基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生物科学分科会	(略)	(略)	(略)
	基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生物科学分科会生物科学分野教育用語検討小委員会	高等学校等の中等教育の現場で用いられる生物科学分野の用語について、教科書等における使用実態の把握及び標準化に関する検討に係る審議に関すること	10名以内の会員、連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者	設置期間:平成29年4月1日～平成29年9月30日		新規設置			
	(略)	(略)	(略)	(略)					
統合生物学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	統合生物学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	(略)	(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)
	基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生物科学分科会	(略)	(略)	(略)		基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生物科学分科会	(略)	(略)	(略)
	基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生物科学分科会生物科学分野教育用語検討小委員会	基礎生物学委員会に記載	基礎生物学委員会に記載	基礎生物学委員会に記載		新規設置			
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生物科学分科会小委員会の設置について

分科会等名： 生物科学分野教育用語検討小委員会

※新規設置

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○基礎生物学委員会 統合生物学委員会
2	委員の構成	10名以内の会員、連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者
3	設置目的	高等学校等の中等教育の場で、生物科学分野の用語が多様化し、教える側にも学ぶ側にも混乱が見られる。このため、高等学校用生物学教科書等で用いられている用語を確認し、不適当なもの、不足しているもの等について、研究者コミュニティで用いられ定着しつつある用語等を参照して、最適な用語を検討し、指針の策定を行う。速やかな審議を行って報告書を取りまとめ、次期学習指導要領の改訂の際、及びそれに基づく教科書作成や教科書検定の際に、用語の標準化の一助となることをめざす。
4	審議事項	高等学校等の中等教育の現場で用いられる生物科学分野の用語について、教科書等における使用実態の把握及び標準化に関する検討に係る審議に関すること
5	設置期間	<u>時限設置</u> 平成29年4月1日～平成29年9月30日 常設
6	備考	

【小委員会】

○委員の決定（新規 1 件）

（総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会熱エネルギー利用の社会実装基盤小委員会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
青柳 みどり	国立研究開発法人国立環境研究所社会環境システム研究センター主席研究員	連携会員
岩城 智香子	株式会社東芝電力・社会システム技術センター機械システム開発部熱流体機器開発担当グループ長	連携会員
北川 尚美	東北大学大学院工学研究科化学工学専攻反応プロセス工学分野准教授	連携会員
藤岡 恵子	株式会社ファンクショナル・フルイッド代表取締役	連携会員

・ 提案 6～7 は提言のため、別添 2 ・ 3 をご参照ください

日本学術会議協力学術研究団体への新規申込みがあった団体の概要

	団体名	概 要
1	多国籍企業学会	多国籍企業の意思決定、行動様式、国際投資、国際企業が直面する政治的、経済的環境など、多国籍企業全般に関する調査研究を行い、我が国における多国籍企業研究及び多国籍企業政策の向上に寄与する。
2	日本「アジア英語」学会	英語の国際化と多様化、とりわけアジア及び太平洋地域における英語の普及と変容、多様性に関する諸問題を研究・解明する。
3	日本ユング心理学会	ユング心理学[※]やそれに基づく心理療法に関する研究、調査及び普及啓発等を通じて、ユング心理学の発展と国民の心の健康増進に寄与する。 (※スイスの精神科医・心理療法家であったカール・グスタフ・ユングが創始した深層心理学理論)

地区会議運営協議会委員の追加の決定について

○九州・沖縄地区会議運営協議会委員の追加について（追加委員）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
宮崎 康二	医療法人聖粒会慈恵病院顧問	第二部会員

※追加後の運営協議会委員数：11名

【参考】

●日本学術会議地区会議運営要綱（抄）

（地区会議運営協議会及び事務局）

第6 各地区に地区会議運営協議会を置き、当該地区の運営及び活動に関する事項を審議・決定する。

2 各地区に所属する会員は、互選により9名以内の地区会議運営協議会委員を選出する。その際、委員が特定の部に偏らないように配慮する。ただし、地区会議運営協議会から科学者委員会に要請があった場合は、科学者委員会及び幹事会の議を経て、当該地区に所属する会員又は連携会員の中から地区会議運営協議会委員を追加することができる。なお、委員の追加を認める場合も地区会議運営協議会の委員総数は12名を超えないものとする。

●辞任した運営協議会委員

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
青木 玲子	九州大学 理事・副学長	第一部会員

平成29年度代表派遣実施計画

<第1区分>

番号	会 議 名	会 期	開催地	派遣人員
1	第22回アジア社会科学研究協議会連盟総会・大会(AASSREC)	2017/4/20 ~ 2017/4/22	(北京 中国)	1
2	第28回国際地図学会議	2017/7/2 ~ 2017/7/7	(ワシントンD.C. アメリカ)	1
3	国際自動制御連盟理事・役員会、関連会議、総会	2017/7/7 ~ 2017/7/15	(トゥールーズ フランス)	1
4	第49回IUPAC総会、IUPAC会議	2017/7/9 ~ 2017/7/14	(サンパウロ ブラジル)	1
5	第25回科学史技術史国際会議	2017/7/23 ~ 2017/7/29	(リオデジャネイロ ブラジル)	1
6	第38回国際生理科学学会連合大会	2017/8/1 ~ 2017/8/5	(リオデジャネイロ ブラジル)	1
7	ゴールドシュミット会議2017	2017/8/13 ~ 2017/8/18	(パリ フランス)	1
8	第32回国際電波科学連合(URSI)総会	2017/8/19 ~ 2017/8/26	(モントリオール カナダ)	1
9	第24回国際結晶学連合会議、総会	2017/8/21 ~ 2017/8/28	(ハイデラバード インド)	1
10	第21回国際栄養学会議	2017/10/15 ~ 2017/10/20	(ブエノスアイレス アルゼンチン)	1
11	国際科学会議(ICSU)と国際社会科学学会ISSCの(統合)合同総会	2017/10/22 ~ 2017/10/27	(台北 台湾)	2
12	国際社会科学会議(ISSC)臨時総会	2017/10/24 ~ 2017/10/26	(台北 台湾)	2
13	世界工学団体連盟(WFEO)総会	2017/11/26 ~ 2017/12/2	(ローマ イタリア)	1
				15

<第2区分>

番号	会 議 名	会 期	開催地	派遣人員
1	世界工学団体連盟(WFEO)2017理事会、執行会議等	2017/4/3 ~ 2017/4/7	(パリ フランス)	1
2	国際科学会議(ICSU)理事会	2017/4/24 ~ 2017/4/25	(パリ フランス)	1
3	太陽地球系物理学科学委員会・理事会および代表者会議	2017/4/28 ~ 2017/4/29	(ウィーン オーストリア)	1
4	国際地理学連合(IGU)役員会	2017/5/8 ~ 2017/5/10	(ケベック カナダ)	1
5	第37回国際農作業科学学会(COISTA)及び国際農業工学会(CIGR)第5専門技術部会国際会議2017	2017/6/12 ~ 2017/6/15	(パレルモ イタリア)	1
6	2017海洋研究科学委員会(SCOR)執行理事会	2017/9/4 ~ 2017/9/6	(ケープタウン 南アフリカ)	1
7	アジア科学アカデミー・科学協会連合理事会	2017/9/28 ~ 2017/9/29	(タガイタイ フィリピン)	1
8	IAP合同会議(IAP-S執行委員会、IAP-R理事会含む)	平成29年9月予定	(オタワ カナダ)	1
9	国際科学会議(ICSU)理事会	2017/10/20 ~ 2017/10/28	(台北 台湾)	1
10	国際地質科学連合理事会(IUGS-EC)および事務局会議	2018/2/13 ~ 2018/2/16	(ハノーバー ドイツ)	1
11	宇宙空間研究委員会(COSPAR)第86回理事会	2018/3/21	(パリ フランス)	1
				11

＜第3区分＞

番号	会 議 名	会 期	開催地	派遣人員
1	WCRP評価委員会、第33回ICSU/科学計画評価委員会(CSPR)等	2017/4/3 ～ 2017/4/11	(<u>パリ</u> フランス)	1
2	ICSU/科学研究における自由と責任に関する委員会(CFRS)及び関連ワークショップ	2017/4/20 ～ 2017/4/21	(<u>パリ</u> フランス)	1
3	STSワークショップ	2017/4/20	(<u>パリ</u> インドネシア)	1
4	欧州地球科学連合2017年度総会	2017/4/23 ～ 2017/4/28	(<u>ウィーン</u> オーストリア)	1
5	大規模災害及び経済リスクの統合ガバナンスにおける国際シンポジウム	2017/5/13 ～ 2017/5/14	(<u>深セン</u> 中国)	1
6	GYA総会	2017/5/15 ～ 2017/5/19	(<u>アビモア</u> イギリス)	3
7	韓国生化学分子生物学会国際会議2017	2017/5/17 ～ 2017/5/19	(<u>釜山</u> 韓国)	1
8	STSフォーラム評議員会	2017/5/17	(<u>ロンドン</u> イギリス)	1
9	2017防災グローバル・プラットフォーム会議	2017/5/22 ～ 2017/5/26	(<u>カンクン</u> メキシコ)	1
10	世界政治学会2017年人文社会科学国際会議	2017/5/27 ～ 2017/6/2	(<u>トロント</u> カナダ)	1
11	IAPのGlobal Policymaking for SDGs	平成29年5月予定	(<u>ニューヨーク</u> アメリカ)	1
12	世界科学フォーラム(WSF)運営委員会	平成29年6月予定	(<u>パリ</u> フランス)	1
13	ICSU/アジア・太平洋地域委員会定例会合	平成29年6月予定	(<u>クアラルンプール</u> マレーシア)	1
14	国際宗教学宗教史学会理事会	2017/7/9 ～ 2017/7/13	(<u>ホーチミン</u> ベトナム)	1
15	COSPAR惑星保護パネルワークショップ	平成29年7月予定	(<u>モフェットフィールド(サニーベール)</u> アメリカ)	1
16	世界人文学会議	2017/8/6 ～ 2017/8/12	(<u>リエージュ</u> ベルギー)	1
17	国際海洋物理学協会/国際気象学・大気科学協会2017年合同総会	2017/8/27 ～ 2017/9/1	(<u>ケープタウン</u> 南アフリカ)	1
18	各国若手アカデミー会議	平成29年8月予定	(<u>ハウテン</u> 南アフリカ)	1
19	第3回アジア第四紀研究会議	2017/9/4 ～ 2017/9/8	(<u>済州</u> 韓国)	1
20	第34回ICSU/科学計画評価委員会(CSPR)	2017/9/5 ～ 2017/9/6	(<u>パリ</u> フランス)	1
21	アジア科学アカデミー・科学協会連合地域ワークショップ	2017/9/28 ～ 2017/9/29	(<u>タガイタイ</u> フィリピン)	1
22	日本カナダ女性研究者交流	平成29年10月以降	(<u>未定</u> カナダ)	1
23	ICSU/アジア・太平洋地域委員会定例会合	平成29年10月予定	(<u>デリー</u> インド)	1
24	第9回国際地形学会議	2017/11/6 ～ 2017/11/11	(<u>ニューデリー</u> インド)	1
25	世界科学フォーラム(WSF)運営委員会・本会議	2017/11/6 ～ 2017/11/11	(<u>死海</u> ヨルダン)	2
26	アジア科学アカデミー・科学協会連合地域ワークショップ	2017/11/13 ～ 2017/11/24	(<u>三亜</u> 中国)	1
27	IAPのGlobal Policymaking for SDGs	平成29年11月予定	(<u>ニューヨーク</u> アメリカ)	1
28	ICSU/科学研究における自由と責任に関する委員会(CFRS)等	平成29年11月予定	(<u>死海</u> ヨルダン)	1
29	宇宙空間研究委員会(COSPAR)総会プログラム委員会・科学諮問委員会	2018/3/19 ～ 2018/3/20	(<u>パリ</u> フランス)	1
30	Gサイエンス学術会議2018	平成30年3月予定	(<u>オタワ</u> カナダ)	2
				34

○代表派遣：平成29年4-6月期の会議派遣候補者

番号	国際会議等	会 期		開催地及び用務地	派遣候補者 (職 名)
			計		
1	世界工学団体連盟(WFEO)2017理事会、執行会議等	4月3日 ～ 4月7日	5 日	パリ フランス	小松 利光 第3部会員 九州大学名誉教授
2	WCRP評価委員会、第33回ICSU/科学計画評価委員会(CSPR)等	4月3日 ～ 4月11日	9 日	パリ フランス	春日 文子 連携会員 国立研究開発法人国立環境研究所特任フェロー
3	ICSU/科学研究における自由と責任に関する委員会(CFRS)及び関連ワークショップ	4月20日 ～ 4月21日	2 日	パリ フランス	井野瀬 久美恵 第1部会員 甲南大学文学部教授
4	第22回アジア社会科学研究協議会連盟総会・大会(AASSREC)	4月20日 ～ 4月22日	3 日	北京 中国	杉原 薫 第1部会員 総合地球環境学研究所特任教授
5	欧州地球科学連合2017年度総会	4月23日 ～ 4月28日	6 日	ウィーン オーストリア	小崎 隆 特任連携会員 首都大学東京都市環境学部教授
6	国際科学会議(ICSU)理事会	4月24日 ～ 4月25日	2 日	パリ フランス	巽 和行 連携会員 名古屋大学名誉教授
7	太陽地球系物理学科学委員会・理事会および代表者会議	4月28日 ～ 4月29日	2 日	ウィーン オーストリア	中村 卓司 連携会員 国立極地研究所教授
8	STSワークショップ	4月20日	1 日	パリ インドネシア	大西 隆 第3部会員 豊橋技術科学大学学長
9	国際地理学連合(IGU)役員会	5月8日 ～ 5月10日	3 日	ケベック カナダ	氷見山 幸夫 第3部会員 北海道教育大学名誉教授
10	大規模災害及び経済リスクの統合ガバナンスにおける国際シンポジウム	5月13日 ～ 5月14日	2 日	深セン 中国	大西 隆 第3部会員 豊橋技術科学大学学長
11	GYA総会	5月15日 ～ 5月19日	5 日	アビモア イギリス	住井英二郎 連携会員 東北大学大学院情報科学研究科教授
12	GYA総会	5月15日 ～ 5月19日	5 日	アビモア イギリス	岩崎 渉 特任連携会員 東京大学大学院理学系研究科准教授
13	GYA総会	5月15日 ～ 5月19日	5 日	アビモア イギリス	岸村 顕広 特任連携会員 九州大学大学院工学研究院准教授

○代表派遣：平成29年4-6月期の会議派遣候補者

番号	国際会議等	会 期		開催地及び用務地	派遣候補者 (職 名)
			計		
14	韓国生化学分子生物学会国際会議2017	5月17日 ～ 5月19日	3 日	釜山 韓国	菊池 章 第2部会員 大阪大学大学院医学系研究科分子病態生化学教授
15	2017防災グローバル・プラットフォーム会議	5月22日 ～ 5月26日	5 日	カンクン メキシコ	西川 智 連携会員 一般財団法人日本地域開発センター総括研究理事
16	世界政治学会2017年人文社会科学国際会議	5月27日 ～ 6月2日	7 日	トロント カナダ	羽場 久美子 第1部会員 青山学院大学大学院国際政治経済学研究科教授
17	STSフォーラム評議員会	5月17日	1 日	ロンドン イギリス	大西 隆 第3部会員 豊橋技術科学大学学長
18	IAPのGlobal Policymaking for SDGs	5月予定	2 日	ニューヨーク アメリカ	蟹江 憲史 特任連携会員 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授
19	第37回国際農作業科学学会(CIOSTA)及び国際農業工学会(CIGR)第5専門技術部会国際会議2017	6月12日 ～ 6月15日	4 日	パレルモ イタリア	梅田 幹雄 連携会員 京都大学名誉教授、国際農業工学会事務局長
20	世界科学フォーラム(WSF)運営委員会	6月予定	1 日	パリ フランス	花木 啓祐 第3部会員 東京大学大学院工学系研究科教授
21	ICSU/アジア・太平洋地域委員会定例会合	6月予定	2 日	クアラルンプール マレーシア	未定

※ 18、20、21については、調整中

平成30年度共同主催国際会議候補

○今回、決定する 1 件（国際委員会国際会議主催等検討分科会決定、国際委員会承認）

※第225回幹事会（平成28年2月26日開催）にて「保留」とした会議の共同主催の可否の決定を行うもの。

会議名		開催予定情報					
追加	2018年米国電気電子学会（IEEE）システム、人そしてサイバネティクスに関する国際会議 2018 The Institute of Electrical and Electronics Engineers International Conference on Systems, Man and Cybernetics (SMC2018) ■母体団体：米国電気電子学会（IEEE）システム、人そしてサイバネティクスに関する組織 （IEEE SMCS: The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Systems, Man and Cybernetics Society） ■主催学会：米国電気電子学会（IEEE）システム、人そしてサイバネティクスに関する組織		参加人数	国外	400	同伴者	0
				国内	400	同伴者	0
				合計	800	合計	0
	国数	[20カ国・地域]					
	会議内容		会議テーマ：情報技術で如何に人を幸せにできるか 主要題目：				
期間	平成30年10月7日（日）～10日（水）[4日間]						
場所	シーガイアコンベンションセンター（宮崎県宮崎市）						
間隔	毎年 [日本開催：19年振り2回目]						

○（参考）第225回幹事会（平成28年2月26日開催）にて既に決定されている7件

会議名		開催予定情報					
既決	第18回国際薬理学・臨床薬理学会議		参加人数	国外	1,500	同伴者	0
	The 18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018) ■母体団体：国際薬理・臨床薬理学連合 (International Union of Basic and Clinical Pharmacology) ■主催学会：第18回国際薬理学・臨床薬理学会議組織委員会			国内	2,500	同伴者	0
				合計	4,000	合計	0
	期間 平成30年7月1日（日）～6日（金）[6日間]		国数	[53カ国・地域]			
	場所 国立京都国際会館（京都府京都市）			会議テーマ：Pharmacology for the Future -Science, Drug Development and Therapeutics-			
間隔 4年ごと [日本開催：37年振り2回目]		会議内容		主要題目：			
既決	2018年液晶国際会議		参加人数	国外	300	同伴者	0
	27th International Liquid Crystal Conference (ILCC2018) ■母体団体：国際液晶学会 (ILCS：The International Liquid Crystal Society) ■主催学会：一般社団法人日本液晶学会			国内	300	同伴者	0
				合計	600	合計	0
	期間 平成30年7月22日（日）～27日（金）[6日間]		国数	[39カ国・地域]			
	場所 国立京都国際会館（京都府京都市）			会議テーマ：液晶の物理・化学・生物・応用、将来			
間隔 2年ごと [日本開催：18年振り3回目]		会議内容		主要題目：			
既決	国際比較法アカデミー第20回研究大会		参加人数	国外	700	同伴者	0
	The 20th International Congress of Comparative Law ■母体団体：国際比較法アカデミー (IACL：International Academy of Comparative Law) ■主催学会：国際比較法アカデミー第20回研究大会組織委員会			国内	100	同伴者	0
				合計	800	合計	0
	期間 平成30年7月23日（月）～30日（月）[8日間]		国数	[50カ国・地域]			
	場所 福岡国際会議場、アクロス福岡、九州大学、西南学院大学他（福岡県福岡市）			会議テーマ：			
間隔 4年ごと [日本開催：初]		会議内容		主要題目：			

会議名		開催予定情報					
既決	第43回錯体化学国際会議		参加人数	国外	500	同伴者	0
	The 43rd International Conference on Coordination Chemistry (ICCC2018) ■母体団体：第43回錯体化学国際会議国際組織委員会 (International Committee of ICC2018) ■主催学会：ICCC2018日本組織委員会			国内	1,000	同伴者	0
				合計	1,500	合計	0
	期間 平成30年7月30日(月)～8月4日(土) [6日間] 場所 仙台国際センター (宮城県仙台市) 間隔 2年ごと [日本開催：24年振り3回目]		国数	[50カ国・地域]			
			会議内容	会議テーマ：21世紀における錯体化学の新潮流 主要題目：			
	既決	2018年電磁波工学研究の進歩に関する国際会議		参加人数	国外	500	同伴者
2018 Progress In Electromagnetics Research Symposium (PIERS 2018 Toyama) ■母体団体：電磁波工学アカデミー (TEA: The Electromagnetics Academy) ■主催学会：一般社団法人電子情報通信学会、電磁波工学アカデミー		国内	500		同伴者	0	
		合計	1,000		合計	0	
期間 平成30年7月31日(火)～8月5日(日) [6日間] 場所 富山国際会議場、ANAクラウンプラザホテル富山 (富山県富山市) 間隔 毎年 [日本開催：12年振り3回目]		国数	[50カ国・地域]				
		会議内容	会議テーマ： 主要題目：				
既決		国際生産工学アカデミー第68回総会		参加人数	国外	400	同伴者
	68th General Assembly, The International Academy for Production Engineering ■母体団体：国際生産工学アカデミー (CIRP: The International Academy for Production Engineering) ■主催学会：公益社団法人精密工学会		国内		100	同伴者	0
			合計		500	合計	0
	期間 平成30年8月19日(日)～25日(土) [7日間] 場所 京王プラザホテル (東京都新宿区)、東京大学 (東京都文京区) 間隔 毎年 [日本開催：12年振り4回目]		国数	[40カ国・地域]			
			会議内容	会議テーマ：生産科学・生産技術に関する研究、開発の推進 主要題目：			
	既決	世界社会科学フォーラム		参加人数	国外	700	同伴者
World Social Science Forum (WSSF) ■母体団体：国際社会科学評議会 (ISSC: International Social Science Council) ■主催学会：国際社会科学評議会、九州大学		国内	300		同伴者	0	
		合計	1,000		合計	0	
期間 平成30年9月25日(火)～28日(金) [4日間] 場所 福岡国際会議場 (福岡県福岡市) 間隔 不定期 [日本開催：初]		国数	[60カ国・地域]				
		会議内容	会議テーマ：Security and Values 主要題目：				

平成31年度共同主催国際会議候補等一覧

○今回、決定する5件（国際委員会国際会議主催等検討分科会決定、国際委員会承認）

会議名		開催予定情報			
決定	米国電気電子学会 (IEEE) 回路とシステム国際シンポジウム 2019 2019 IEEE International Symposium on Circuits and Systems (ISCAS2019) ■母体団体：米国電気電子学会 回路とシステムソサイエティ (The Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE), Circuits and System (CAS) Society) ■主催学会：米国電気電子学会 回路とシステムソサイエティ	参加人数	国外	900 同伴者	0
			国内	100 同伴者	0
			合計	1,000 合計	0
		国数	[49カ国・地域]		
		会議内容	会議テーマ：Circuits and Systems for Sustainable Society in Harmony with Nature 主要題目： 関連分野：IoT、バイオ・生命科学、ロボット工学、人工知能（自然言語処理・映像認識理解）、低消費電力LSI設計論 応用領域：環境アセスメント、防災・減災システム、スマート社会システム、スマート情報家電		
決定	第29回国際地図学会議 The 29th International Cartographic Conference (ICC) ■母体団体：国際地図学協会 (ICA: International Cartographic Association) ■主催学会：国際地図学協会日本委員会	参加人数	国外	500 同伴者	0
			国内	600 同伴者	0
			合計	1,100 合計	0
		国数	[50カ国・地域]		
		会議内容	会議テーマ：地図づくりを、誰にもどんな事にも！ 主要題目：アート、アトラス、地図遺産、子供、災害、認知、教育、総描、空間分析、空間情報、地図史、LBS、デザイン、製作、投影、視覚障害、インターネット、山岳、オープンソース、惑星、SDI、センサー、地形図、地名、ユビキタスマッピング、利用、視覚分析法、等		
決定	地球科学・リモートセンシング国際シンポジウム 2019 IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium (IGARSS 2019) ■母体団体：米国電気電子学会 (IEEE: The Institute of Electrical and Electronics Engineers) ■主催学会：米国電気電子学会 地球科学及びリモートセンシング部会	参加人数	国外	1,000 同伴者	0
			国内	400 同伴者	0
			合計	1,400 合計	0
		国数	[50カ国・地域]		
		会議内容	会議テーマ：21世紀における地球環境の保護、減災 主要題目：地球環境を守るリモートセンシング技術、宇宙技術、電磁波、光学解析技術、大規模なデータ解析、理解、処理技術		
決定	第25回ICOM（国際博物館会議）京都大会 25th General Conference of International Council of Museums ■母体団体：国際博物館会議 (ICOM: International Council of Museums) ■主催学会：国際博物館会議、ICOM京都大会組織委員会	参加人数	国外	2,000 同伴者	0
			国内	1,000 同伴者	0
			合計	3,000 合計	0
		国数	[130カ国・地域]		
		会議内容	会議テーマ：Museums as Cultural Hubs: The Future of Tradition 主要題目：		
決定	国際義肢装具協会世界大会2019 International Society for Prosthetics and Orthotics 2019 World Congress (ISPO2019) ■母体団体：国際義肢装具協会 (ISPO: International Society for Prosthetics and Orthotics) ■主催学会：国際義肢装具協会日本支部	参加人数	国外	2,000 同伴者	0
			国内	2,000 同伴者	0
			合計	4,000 合計	0
		国数	[70カ国・地域]		
		会議内容	会議テーマ： 主要題目：		

○今回、保留とする1件（国際委員会国際会議主催等検討分科会決定、国際委員会承認）

※来年度、国際会議主催等検討分科会において、再度ヒアリングを行う等検討した上で、共同主催することが適当と決定した場合、国際委員会を経て、幹事会において、追加の決定を行うもの

会議名		開催予定情報			
保留	第18回新芳香族化学国際会議 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18) ■母体団体：新芳香族化学国際会議に係る国際諮問委員会 (International Advisory Board of Symposium on Novel Aromatic Compounds) ■主催学会：公益社団法人日本化学会	参加人数	国外	100 同伴者	0
			国内	400 同伴者	0
			合計	500 合計	0
		国数	[30カ国・地域]		
	期間 平成31年7月21日（日）～26日（金）[6日間] 場所 北海道大学、京王プラザホテル札幌（北海道札幌市） 間隔 2年ごと [日本開催：12年振り4回目]	会議内容	会議テーマ：芳香族化合物の構造化学、物性化学、理論化学 主要題目：芳香族性および新規芳香族化合物、芳香族ポリマーとオリゴマーの化学、大環状/多環縮環/曲面芳香族化合物、分子スイッチおよび分子機械としての芳香族化合物、超分子、芳香族化合物および共役π電子系の有機材料化学、等		

平成29年度SCA関連海外出張計画(案)

番号	会 議 名	会 期	開催地	派遣人員
1	第17回アジア学術会議年次大会及び理事会	2017/6/14 ～ 2017/6/16	マニラ (フィリピン)	6
2	アジア学術会議役員会議及び第18回事前調査	2017年12月頃	ダッカ (バングラデシュ)	1
3	アジア学術会議非加盟機関等往訪	会期未定	未定 未定	1